

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

瀬戸内 ReFarming 株式会社

取組概要

取組名 : ベーシックインフラ事業による農業人材確保と地域定着促進の取組
実施地域 : 香川県三豊市
アクティビティ種別 : ⑦農山漁村での生活、なりわいを体験できる移住体験の取組
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献 (人的 金銭的 物的・技術的)
取組実施日・期間 : 2024年4月～2025年12月12日

取組詳細

取組の目的・解決したい課題
三豊市は高齢化により農業人材が不足し、今後第一次産業が縮小していくリスクが高い。一方で移住希望者や複業人材にとっては、住まい・光熱など生活基盤の確保が難しく、地域参画の障壁となっている。そこで、住まい・光熱など生活インフラを無償提供する「ベーシックインフラレッジ」を構築し、農業人材の確保と地域への中長期定着を促進する。農作業×生活支援×地域活動を組み合わせ、地域の労働力不足を循環型で解消する。

インプット
✓ ベーシックインフラハウス（3棟）、農作業支援を条件とした家賃免除・代替支払い制度、光熱費負担スキームの構築
✓ 事業運営・受入調整、地域コーディネートを行う自社スタッフ2名、地域事業者5社・自治体との連携体制構築

アクティビティ
✓ 移住希望者や複業人材の農山漁村活動のための支援
・ 耕作放棄地での農作業支援の実施（6名、1人あたり週3回・各3時間）
・ 生活インフラ、家賃免除・代替支払い制度、光熱費負担スキームの提供
・ 地域事業者5社を活用した地域プロジェクト参画機会の提供
・ 移住・二地域居住希望者への滞在・相談支援の実施（年間20件）

今後の展望
【短期：2026年1月～】参加者が地域で仕事や事業を生み出せる仕組みを整え、地域事業者との連携やマッチングを強化して、起業・就業の基盤をつくる。
【中期：2026年7月～2028年12月】短期モデルを他地域へ横展開しつつ、介護・交通・教育等と連携を拡大。複数地域・複数分野で活用できるモデルを構築。
【長期：2027年以降】中期成果を行政施策と接続し、制度化。農業人材確保や移住・起業支援を一体化した持続可能な人材循環モデルとして、地域の基盤とする。

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

その他

本取組は、農業分野の労働力不足や地域事業者の人手不足という複合課題に対し、
住まい提供 × 地域参画 × 農業支援 を組み合わせた全国的にも先進的なモデルであると考えている。
特に、生活基盤の支援を通じて地域参入のハードルを下げることで、
従来の移住・就農支援にはない「人材の流入 → 体験 → 定着」の一連の流れを形成しており、
地域における人材循環と外部人材活用の新しい仕組みとなっている。

※別紙記載の内容は、申請者による任意記載であり、本証明の範囲外である。